



たかのす便り

朝晩の冷え込みも厳しくなり、日に日に秋の深まりを感じるようになりました。
今回は、関川村民、小中学校および高校生を対象に実施した現場見学会をご紹介します。

関川村民見学会 参加者数は昨年の2倍

10月13日、関川村民を対象とした見学会を昨年に引き続き開催しました。

関川村の村議会議員、区長、住民、旅館業関係者のほか、平田村長をはじめとする役場職員を含め、約30人が見学会に参加しました。

現在、大内湊地区ではJR米坂線を跨ぐ1号橋梁の下部工に着手しています。工事現場は周辺からは見えにくい場所ですので、今後も定期的に見学会を開催して地元の皆様に工事の進捗状況を見て頂きたいと考えています。



掘削中の杭基礎を見学



平田村長のご挨拶

新発田南高校3年生が現場体験

10月21日、県立新発田南高等学校の土木工学科3年生39人と先生2人が、現場体験を行いました。好評だった昨年に引き続き、2年連続の開催となりました。

場所打杭や地盤改良、最新の情報通信技術を用いた効率的な土工機械の見学のほか、鉄筋結束作業を富樫組の技術者から指導を受けながら体験。授業では経験できない土木の魅力を体感して頂きました。見学会後のアンケートでは「建設会社に就職するが、この体験が役立つ」「想像したよりも現場環境が良かった」などの感想を頂きました。



初めての鉄筋結束に「上手だぞ！」



レーザーや人工衛星を使う土工機械に関心

小学生と中学生を対象に初めての見学会

10月5日に関川小学校6年生45人と先生等3人、10月15日に関川中学校1年生37人と先生等6人が参加した見学会を行いました。最新の測量機器で距離を測ったり油圧ショベルに試乗したほか、ドローンによる撮影実演などの見学に満足した様子で「また現場に来たい」との声も聞かれました。中学生を引率した先生からは「生徒たちにとって貴重な体験になったはず。建設業を目指す生徒もいるのでは」と仰っていました。



油圧ショベルの仕組みを説明



「予想した距離と全然違った」と笑顔



難しい操作に戸惑いながら



初めて見るドローンに興味津々

【アンケートに書かれた感想の一部です】

私は、この見学会を通して土木の仕事がどのような仕事なのか、また工事現場がどのような場所なのかよく分かりました。そして、私たちでも楽しめるように色々な工夫をしてくださってありがとうございました。とても楽しかったです。これからも仕事がんばってください。

(中学生)

道路がみんなのためにあるのが良く分かった。道が無いと、仕事にいかなくなったり、物もはこべなくなったりすることが分かった。道はみじかで意味は良く分からなかったのでも知れたので良かった。あと、おじいさんの新しいショベルカーなどにのれたのでうれしかったです。

(小学生)

ドローンがとんでいるのを見たり、大きな機械に乗せてもらって少し動かしたりしたのがすごく楽しかったです。土木の仕事について未だ前より知ることができませんでした。また自分でももらった資料を見たり、インターネットで調べたりしてもっとなりたいです。

(小学生)

わたしは、最初工事現場は、あまり興味がなかったし、何をしているのか分からなかったけど、見学をして、仕事内容など、くわしいことがよく分かりました。あと油圧ショベルに乗った時に、そうさが難しかったけど、自分で動かしていると思うと、うれしかったんです。

(小学生)

発行およびお問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局
羽越河川国道事務所

〒959-3196 新潟県村上市藤沢27-1

電話：0254-62-3211 (代表)

担当：伊藤（鷹ノ巣道路整備推進プロジェクトチームリーダー）

URL⇒<http://www.hrr.mlit.go.jp/uetsu/>

モバイル

